

# 学校法人石川学園横浜デザイン学院

## 平成 28 年度学校関係者評価報告書

### 1.学校関係者評価委員会実施要領

日時 2017年9月2日 16:00~18:00	
場所 横浜デザイン学院 2階 211 教室	
学校関係者評価委員	本校教職員
栗田 秀子 千代田国際教育グループ 代表理事	池田 俊一 横浜デザイン学院 学院長
高島 浩二 株式会社高島商店 代表取締役専務	寺内 有紀夫 横浜デザイン学院 副学院長
花井 秀年 株式会社プレシア 代表取締役社長	角田 健 同 事務局長
山口 禎子 山口会計事務所 公認会計士 理事	内田 瑛子 同 高等課程教諭
片野坂達也 佐川印刷株式会社 (2013年3月卒業)	佐久間みのり 同 日本語学科教務主任
	影嶋 知香子 同 総合日本語科教務主任
	志村 信生 同 国際センター長
資料 平成 28 年度自己点検・評価表 当日説明用スライド資料	

## 2.自己点検評価結果報告及び各項目に対する学校関係者評価

### 1 教育理念・目標

学校が設定する評価項目	自己点検評価の概要	学校関係者からの評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 学校の将来構想を描くために、業界の動向やニーズを調査しているか</li> <li>● 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか</li> <li>● 学校における職業教育の特色は明確になっているか</li> <li>● 理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか</li> <li>● 理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 1-1 については、教育課程編成委員会にて業界で活躍している人から、業界の動向などの知見を得ている。</li> <li>● 1-2 は学則に記載されているので適切と判断する。</li> <li>● 1-3 は事業計画書を作っているので適切と判断する。</li> <li>● 1-4 は学校案内、ホームページにて周知している。</li> </ul> <p>課題として、専門職大学の設置や神奈川県立高校の統廃合等の外部環境の変化がある。それを受けて将来を見据えた学校構想の構築が必要と考え、検討プロジェクトを設置。今後、文部科学省や教育委員会の情報を得ながら学校の将来構想を策定していく予定。</p> <p>また日本語学科の定員数を上げる為に、将来に向けて教室確保などの準備を行いたい。</p>	<p>概ね問題なし</p>

## 2 学校運営

学校が設定する評価項目	自己点検評価の概要	学校関係者からの評価
<p>(項目数が多いため一部抜粋)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● (2-17) 教育活動に関する情報公開が適切になされているか</li> <li>● 情報システム化等による業務の効率化が図られているか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 2-17 教育活動の情報公開として、ホームページのプラットフォームを変更、改善している。スマートフォンに対応可能、コンテンツ作成などを行い、情報公開を進めている。</li> </ul> <p>昨年度末よりクラウドサービスを利用した募集システムの運用を開始した。募集対象者の情報は一元管理のもと共有できるようになり業務効率は上がっている。但し在籍生の管理を行うシステムは未だ導入しておらず、導入の検討を進めていきたい。</p>	<p>概ね問題なし</p>

### 3 教育活動

学校が設定する評価項目	自己点検評価の概要	学校関係者からの評価
<p>(項目数が多いため一部抜粋)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 教職員(事務部門を含む)それぞれの職務分掌が、職務記述書のような形で文書化されているか</li> <li>● 人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか</li> <li>● 上記の職務記述書は、適切な間隔でレビュー(見直し)されているか</li> <li>● 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか</li> <li>● 教職員のコンピテンシーを職務記述書と関連付けながら評価(又はレビュー)し、それらの評価結果(又はレビュー結果)を記録しているか</li> <li>● 職員の能力開発のための研修等が行われているか(研修等の効果进行评估し、文書により記録しているか)</li> <li>● 関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか</li> </ul>	<p>入学から卒業まで学生の満足度を高める為にも特に情報提供が大切だと考えており、大きく3つの課題を掲げている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 現在学生への情報提供となる小冊子が留学生用しか存在していない。共通認識できることを目指し、「学生生活の手引き」を作成配布したい。</li> <li>● 教員の業務が多岐にわたり忙しくなっているからこそ、職務分掌や職務記述書のような形で文書明文化し、業務効率よく対応できるようにしたい。各教員の仕事の棚卸を実施し、各々の役割を認識し効率化を図りたいと思う。但し職務記述書などが形骸化しないよう生きたマニュアルを作りたい。</li> <li>● 各教員が暗黙知で取り組んでいる業務は成果や課題を見つけづらい。属人化を避けて機能する組織が大切だと思う。そのためにはスケジュールや教育環境の可視化が求められる。そういった対応は教育の質の向上を目的として行われるべきだ。備品リストは現在整備に着手している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 企業では仕事の基礎的なことを学ぶことができるビジネススクールに従業員が会社の業務として自主的に参加できるようにしている。教職員の教育を体系化するべきでは。</li> <li>● 勉強会や講師会で、講師の意識の共有化や対応する範囲等を確認すべき。講師の間で、学生への指導方法、仕上がり像などの共有を図ることはできないのか?</li> <li>● 講師の方で、学生への指導方法について悩んでいるが、相談できていないような人がいると思う。合同で打合せを行うことで、指導における問題意識の共有や気づきがあると思う。</li> <li>● 印刷・デザイン業界は自分が入社した当初よりプロ専用のソフトを一般ユーザーが使用できるようになり、顧客から仕事の要求が高くなって来ている。自分で作ったものを手直しして欲しいという顧客もいる。佐川印刷では新卒採用をここ数年実施しておらず、会社としては経験と効率的に仕事ができるノウハウを持っている人を途中で採用しており、その情報を社内で共有して仕事に取り組んでいる。</li> </ul>

#### 4 学修成果

学校が設定する評価項目	自己点検評価の概要	学校関係者からの評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか</li> <li>● 全体的及び具体的な評価目標ならびに想定される評価範囲を記述できているか</li> <li>● 学生の評価だけでなく、教職員やカリキュラムの評価も含め、評価方法及び手段、スケジュール及び根拠を記述しているか</li> <li>● 成績証明書等、評価結果が社会的通用性を高める形式となっているか</li> <li>● 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 輩出する学生像を学校全体で共有することが大切だと思う。ファッション、デザイン、マンガ科で輩出する学生像、ディプロマポリシーの明確化が大きな課題。また卒業生の情報収集もこれに付随する。現在も卒業生のアンケートは実施しているが、まだ回収率は高いものではないので、現状の課題の一つである。改善方策としてディプロマポリシーを定め、授業カリキュラムを可視化・明確化し、それは就職実現度を上げ、就職時のミスマッチを減らすことに繋がる。</li> <li>● 実際に学生が就職して実感したことを現在の授業にフィードバックすることができていないのでその方法を検討していきたい。その為には同窓会組織を編成して卒業生の情報収集を行い、現在の学習内容に反映することも大切だと思う。さらにSNS等を活用して、同窓会組織の立ち上げを検討中。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● この学校に入学する前は、デザイナーの仕事はキラキラした世界の印象が強かったが、実際は泥臭い業界。その環境に馴染めず辞める人が多い。精神的に強い人でないとデザイン業界で仕事を続けることは難しい。同窓会などの横のつながりがあれば、お互いの励ましになり、仕事の発展に繋がるような機会になると思うのであれば嬉しい。</li> </ul>

## 5 学生支援

学校が設定する評価項目	自己点検評価の概要	学校関係者からの評価
<p>(項目数が多いため一部抜粋)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 進路・就職に関する支援体制は整備されているか</li> <li>● 学生相談に関する体制は整備されているか</li> <li>● 図書室・図書コーナー等、ホットライン、カウンセリングサービス、コンピュータの利用、メンタリングなどの学習サポートについて案内しているか</li> <li>● 担任以外に学生の健康管理・メンタルヘルスについて相談できる担当者があるか</li> <li>● クラブ活動等の課外活動に対する支援体制は整備されているか</li> <li>● 学生の生活環境への支援は行われているか</li> </ul>	<p>課題として学校が学生に提供できるサービスを案内したものが無い。また放課後の教室を利用した課外活動について共有できていない。改善方策として「学生生活の手引き」にその情報を網羅し、教職員が学生の施設利用を容易に把握・管轄する方法を考えていく必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 今の社会で一人ひとりが丁寧な対応で教育を受けられる機会は少なく、良いと思う。</li> <li>● 学生支援でクラブ活動、施設利用の可視化が進んでいないということだが、学生が良く通る廊下の掲示板に貼るなど簡単な所から始めて見てはどうか。</li> <li>● 外部への施設の貸与の関連で、地下の音響設備は設置当初は良い設備を入れていたはず。もったいないので、貸出などのアナウンスを行い利用機会の提供をしてみてもと思う。</li> </ul>

## 6 教育環境

学校が設定する評価項目	自己点検評価の概要	学校関係者からの評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか</li> <li>● 学校施設・備品等が定期的に管理・点検されているか</li> <li>● 教職員に対して、学習指導のための訓練や避難訓練を実施しているか</li> <li>● 防災に対する体制は整備されているか</li> <li>● 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか</li> <li>● 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 授業の専門性を考慮して、PC・インターネットの活用が必須となっているので、IT環境の充実が課題である。昨年からWi-Fi環境の整備を進めている。端末を新しいのに一部入れ換えを実施した。今後、学生が自由に使えるWi-Fi環境の整備が必要と思われる。</li> <li>● 大規模災害の対応マニュアルを現在整備中。地震や火事等の避難訓練は毎年9月実施しており今年も実施予定。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 学校設備でWi-Fi環境は全教室に整っているのか 回答…順次対応中</li> <li>● 地震や火事等の災害を知らせる全館放送の設備はあるのか 回答…ある</li> </ul>

## 7 学生受入れ募集

学校が設定する評価項目	自己点検評価の概要	学校関係者からの評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 履歴書（学歴、所有資格など）を適切に入手し、適切な管理を行っているか</li> <li>● 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか</li> <li>● 学生募集活動は、適正に行われているか（例えば、入学願書などの契約書を取り交わし、それらの文書を適切に管理しているか）</li> <li>● 学校案内等に、学費、受験料、学習教材の購入費等が明示されているか</li> <li>● 評価手段及びその基準、修了時に発行される証明書等について説明しているか</li> <li>● 学校案内等には選抜方法など、入学に必要なスキル、資格、職業経験などの、前提となる要件が明示されているか</li> <li>● 学納金は妥当なものとなっているか</li> </ul>	<p>募集方法は紙媒体からネット媒体が中心となっている。平成 28 年度は総合デザイン科とファッション科の学生募集の目標未達の為、その改善が求められており、高等学校への接触、進路関係の催しを行い、募集対象者や関係者の職業理解と関心を高めるように努めている。過去デザイン分野の募集は厳しかったが今年度になり来校者数も回復しつつある。</p>	<p>概ね問題なし</p>



## 8 財務

学校が設定する評価項目	自己点検評価の概要	学校関係者からの評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 財務について会計監査が適正に行われているか</li> <li>● 財務情報公開の体制整備はできているか</li> <li>● 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか</li> <li>● 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか</li> </ul>	<p>会計監査は適切に行われていると判断する。但し前年度は赤字決算であった為、経費削減が求められている。課題として学生募集の経費が増加。今年度のこれら広報費の予算は10%削減して、紙媒体よりネット媒体にシフトしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 財務状態がどうであるかは一番信用に繋がるので改善されて来ていることは素晴らしい。まず財務内容が良くないと信用を失う。</li> </ul>

## 9 法令等の遵守

学校が設定する評価項目	自己点検評価の概要	学校関係者からの評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか</li> <li>● 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか</li> <li>● 自己評価（内部監査）の実施と問題点の改善に努めているか</li> <li>● 監査や ISO 29990 の知識を有する適任者により適切に監査され（自部署の監査を行わず）、当該部署の責任者に監査結果を報告しているか</li> <li>● 内部監査での指摘事項として、改善すべき点を明確にしているか</li> <li>● 内部監査の結果を受けて取られる処置が、適切な時期及び適切な方法で実施されているか</li> <li>● 自己評価結果を公開しているか</li> </ul>	<p>専門職大学に移行するなら ISO に基づく監査が必要であるが、ISO は経費が増加するものであり短期で解決するのは難しい。ISO についての改善方策は導入義務化が見込まれる時点で着手する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 企業はコンプライアンスが厳しくなっている。例えば SNS などの上場企業の社員による公共マナー違反が取りあげ、それが理由で会社にダメージを与えることがある。例えば大手電話会社の社員が電車の中で、電話することがおかしいのではないかと批難される等の事例を通して、現代はそのようなことで信用を失う時代であり、コンプライアンスの遵守が重要である事を訴えている。</li> </ul>

10 社会貢献・地域貢献

学校が設定する評価項目	自己点検評価の概要	学校関係者からの評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか</li> <li>● 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか</li> <li>● 地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか</li> </ul>	<p>新体操教室や検定試験に施設利用を行っている。課題に掲げたボランティア活動は学園全体で取り組むことは難しいが、外部との連携を活発化させて学生のボランティアマインドを醸成させていきたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 社会貢献、地域貢献の活動として正月の餅つき大会をもう少し地域の方を呼び込めるようにしてみてもと思う。看板だけではなくチケット配布など地域を巻き込んだ工夫をしてみてもと思う。</li> <li>● 法人会で横浜デザイン学院は何をしているのかと良く聞かれる。もう少し周囲にわかるようになれば良いと思う。向かいのオオハラホールはピアノの催しなど行っている様子だが、学校にはその設備はあるのか？</li> <li>● 生徒学生の「おはよう」「こんにちは」の挨拶が地域の中でもっとあれば良い。清掃活動など地域貢献は何気なく見ている。また見ている人は見ている。このような活動は見せるのではなく、自然と見えるような状態が良い。今後とも続けて頂きながら地域との交流も併せて進めてもらいたいと思う。</li> </ul>

## 11 国際交流

学校が設定する評価項目	自己点検評価の概要	学校関係者からの評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 留学生の受入れ・派遣について戦略を持って国際交流を行っているか</li> <li>● 受入れ・派遣、在席管理等において適切な手続き等がとられているか</li> <li>● 学習成果が国内外で評価される取組を行っているか</li> <li>● 学内で適切な体制が整備されているか</li> </ul>	<p>今年度は地元のNPOと交流や、県のプログラムなどに留学生の多くが参加し、日本人と留学生の交流が活発になっている。外国籍の従業員が在籍している企業に日本語教師の派遣を行っている。今後も積極的に取り組んでいきたい。</p> <p>外部の日本人学生団体と月1回程度、交流イベントを行っている。また年間の各行事では学習目的を盛り込んで、参加・交流意欲を高めるようにしている。さらに日本語教師勉強会を弊社にて開催しており、他校の日本語教師と交流し情報交換を行っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 国際交流は多くやっている印象があり良い事だと思う。11月に中国から中学生・高校生が来日する予定だが、その学生たちと交流することは可能だろうか？</li> </ul>